

梅雨・台風シーズンに入ります

～日頃から、大雨・土砂災害に備え、避難の準備をしておきましょう～

近年、全国では洪水や土砂災害を引き起こす大雨や短時間強雨の回数が増加しており、特に短時間強雨については、1時間に50ミリ（「非常に激しい雨」）以上となる回数がこの10年間で1.4倍にもなっています。

奥多摩町でも4年前の令和元年東日本台風（台風第19号）災害が記憶に新しいところですが、大雨や土砂災害の危険性は年々高まっています。

風水害から自身や大切な人の命を守るためには、大雨や台風接近の予報が発表されたとき、また、町から避難情報（「高齢者等避難」・「避難指示」など）が発令されたときに自分がどのように行動すべきか、あらかじめ考え、ご家族など周りの方と話し合っておくことが大切です。

【気象庁による予報】

近年は台風発生時でなくても突発的に激しい雨が降ることも増えているため、日頃からテレビやインターネットなどにより、気象情報をこまめにチェックする習慣をつけましょう。

気象庁のホームページでは、「あなたの街の防災情報」として、奥多摩町の天気予報や雨雲の状況、発表中の防災情報（注意報・警報など）を確認できます。

また、このページ上で確認できる「キキクル（危険度分布）」では、細かな区域ごとの災害危険度が色分けして表示されるため、災害時、お住まいの地域に危険が迫っていることを知ることができます。

【町からの避難情報】

気象庁の予測情報や実際の気象状況などから、町内の地域に災害の危険が迫っていると判断したとき、町は、該当地域の住民に対し、避難情報を発令します。町が発令する避難情報は、災害危険度（気象庁が発表する警戒レベル）に応じて、つぎの3段階に分かれています。

◎高齢者等避難

気象庁が発表する「大雨警報（土砂災害）」（警戒レベル3）の発表を目安として発令します。

「高齢者等避難」が発令された場合、対象地区にお住まいの、避難に時間を要する高齢者等*は、危険な状況になる前に地域の避難所など安全な場所へ避難してください。

また、高齢者等以外の方も、必要に応じて、避難の準備をしたり自主的に避難するタイミングとなります。

*「高齢者等」には、高齢者のほか、障害のある方、妊産婦、子どもなど、避難に時間を要する方や避難に支援が必要な方およびその支援者（家族、付き添いの方）などが含まれます。

◎避難指示

気象庁が発表する「土砂災害警戒情報」（警戒レベル4）の発表を目安として発令します。

「避難指示」が発令された場合、対象地区にお住まいの方は、原則として全員が、速やかに危険な場所から安全な知人宅や地域の避難所など安全な場所へ、避難してください。

《次ページへ続く》